

うさぎぐみだより

2020年度 3月号



寒さの中にも、少しずつ春の温かい日差しが感じられるようになってきました。うさぎ組で過ごすのも後1ヶ月になり、進級を心待ちにしている子どもたち。また一つお兄さん、お姉さんになる喜びを感じているようです。この一年で大きく成長した子どもたちの姿が嬉しく、頼もしさを感じています。うさぎ組で過ごす残りの時間を大切にしながら、楽しく安心して過ごせるようにしていきたいと思います。1年間、たくさんのご協力ありがとうございました。



おたのしみ会

初めてのおたのしみ会。劇あそびは、子どもたちの言葉や動き、表現などを大事に取り入れていきました。毎回変わるセリフもありましたが、自分で表現する楽しさを感じている様子があり、一人一人が輝いていました。「発表会、楽しみ」「がんばる」「〇〇役するんだよ」と楽しみにする子が多く、練習が終わるたびに

「この前より、上手だった？」と聞く子どもたち。「上手だったよ」と伝えると「わたしは?」「〇〇くんは?」と褒められたい気持ちでいっぱいです。褒められると「やった!」と、とても嬉しそうでした。自信もつくようになりました。おたのしみ会リハーサルは、ひよこ組~ぞう組のお客さんがたくさん! ドキドキしている

様子も見られましたが、いつも通り楽しんで歌を歌ったり劇遊びをしたりしていました。たくさんの人の前に立ち、いろいろな思いや感じたことがあったと思います。保護者の方には、DVD で見ていただくこととなりますが、楽しみにしててください。他のクラスの歌や劇にも興味津々で、きりん組の劇にある「にらめっこしましょ 笑うと負けよ あっぷっぷ」の遊びを見ると大笑い。お友だちと顔を見合わせて笑う姿が微笑ましかったです。ぞう組の劇では「かっこよかった!」と目をキラキラさせて言っていました。



お雛様とお内裏様を「お姫様と王子様」と言っていた子どもたち。廊下に飾ってある雛祭りの飾りを毎日嬉しそうに見ています。ひな祭り制作は、好きな色の花紙を小さなジップロックに入れ、着物を作りました。手先を器用に使いながらジップロックを開け、丸めた花紙を上手に入れていました。顔は、色鉛筆で描きいろいろな色や表情の可愛い顔を描く子どもたちでした。完成していくのを見ると、とても嬉しそうな表情。友だちと見せ合いっこをし、楽しい時間を過ごしました。

身の回りのこと

靴下を丸めて綺麗に入れる、食後に口を拭く、シャツをズボンに閉まう、上着のチャックを閉めることなど自分でできるようになってきました。ひとつひとつのことに時間が掛からなくなり、着替えをする時間や食事の時間なども短くなりました。また、時計を気にして見る子が多くなり「どこになったら、ごちそうさます?」「今、長い針は3だよね」などと話をしています。

ルール遊び

鬼ごっこがやかくれんぼ、だるまさんが転んだが大好き! 前までは保育者を追いかけたり、保育者から逃げたりしていた鬼ごっこ。ルールを理解するようになり、ひとりの子が鬼になり友だちを追いかけてタッチしています。みんなで遊び、とても楽しそうです♪